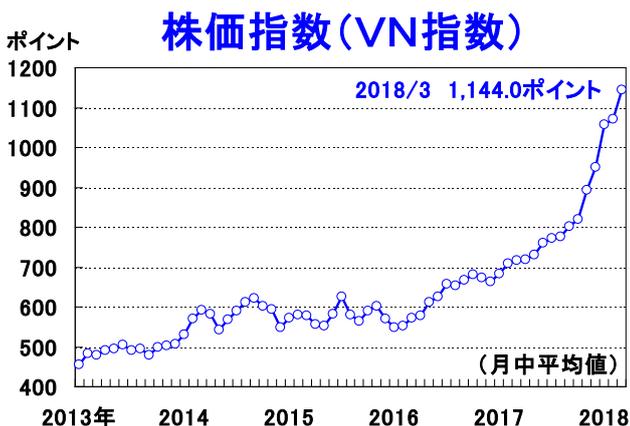
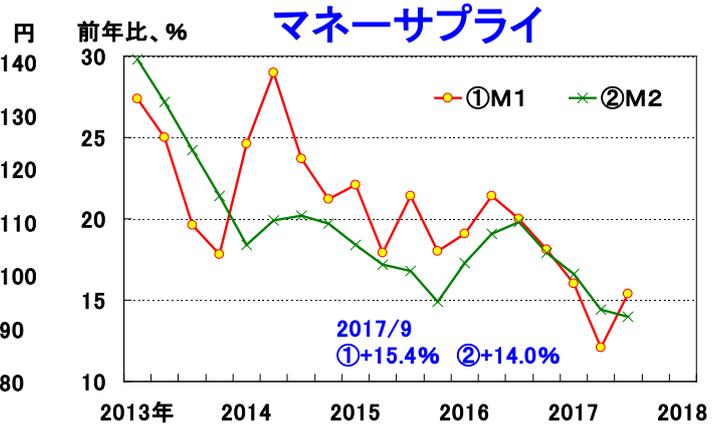
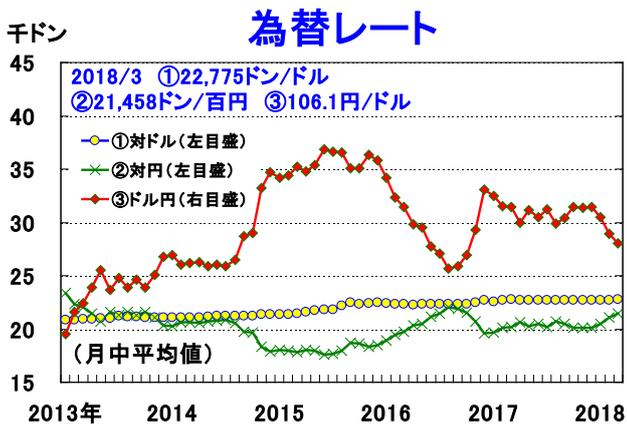
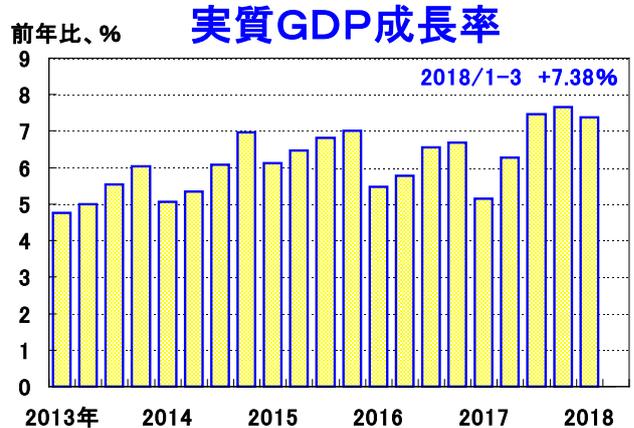
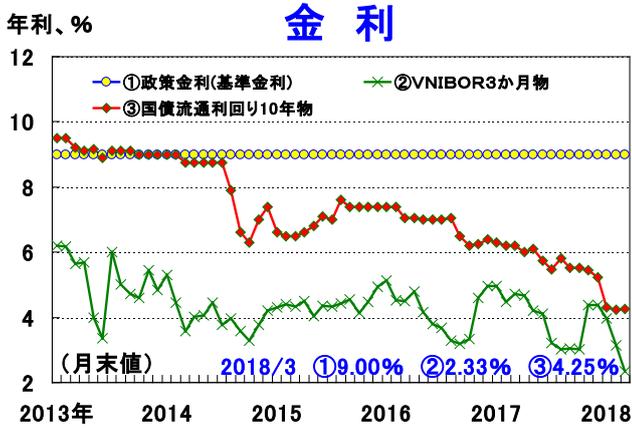


# グラフで見るベトナム経済 2018年4月号(No. 99)

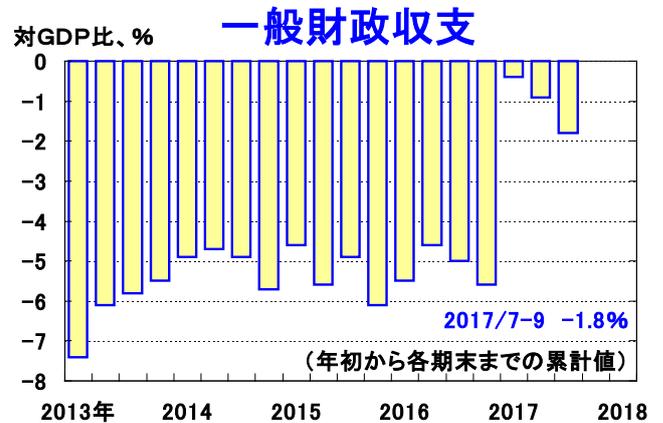
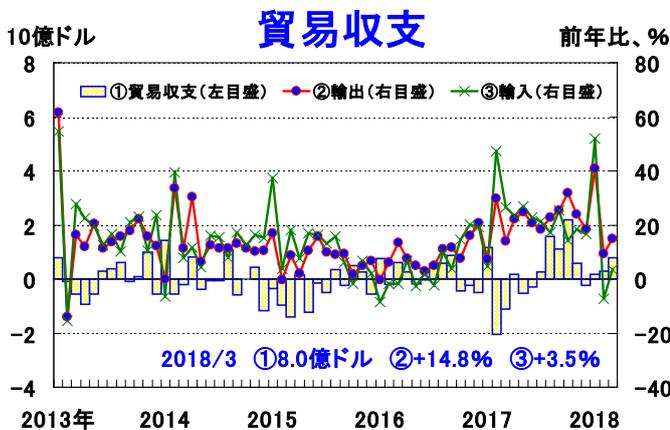
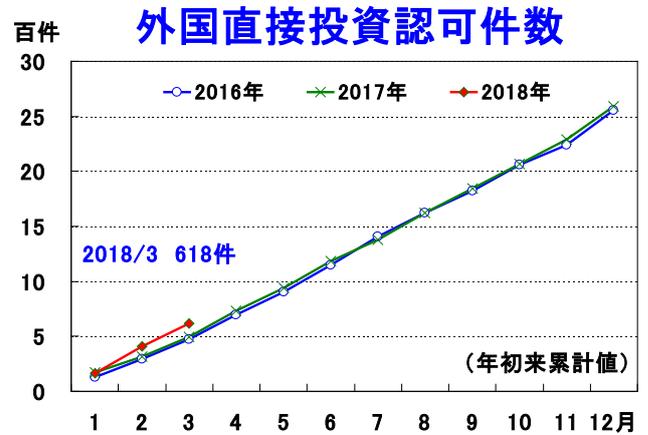
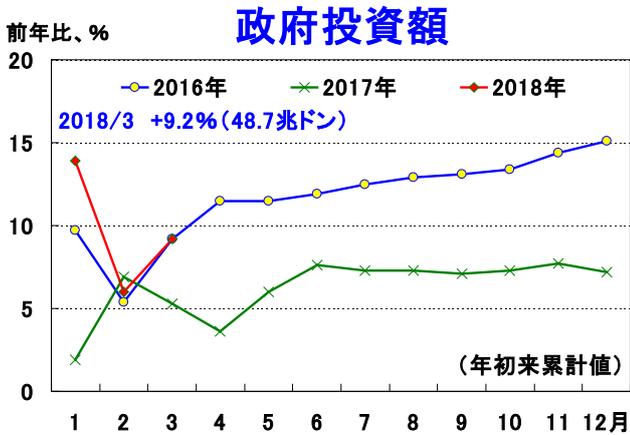
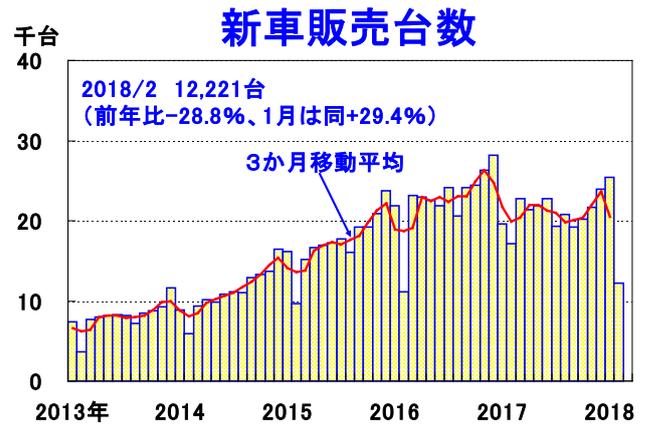
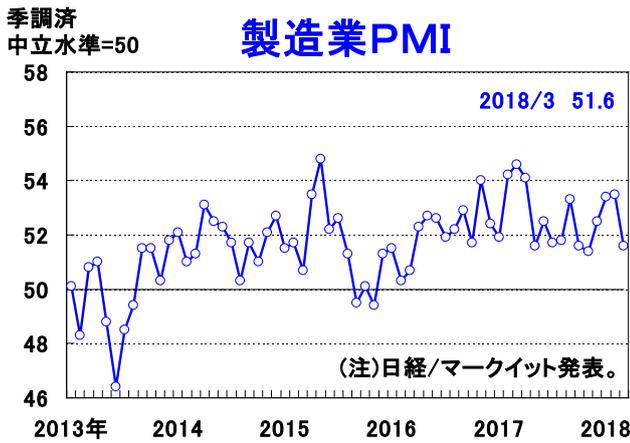
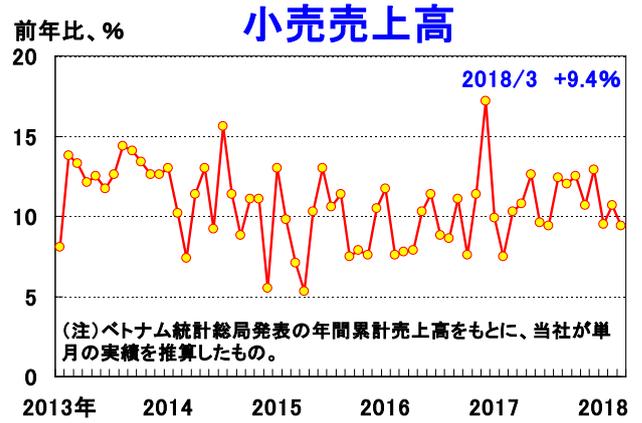
2018年1～3月期の実質GDP(国内総生産)成長率(推定値)は前年比+7.38%と、好調な製造業が牽引したこともあり、第4四半期としては10年ぶりの高い伸びを記録した。月次指標をみると、3月の輸出は前年比+14.8%(前月は同+9.3%)と加速し、鉱工業生産も同+8.7%と前月の伸び(同+8.0%)を上回った。もっとも、家計部門では、個人消費に陰りがみられる。すなわち、2月の新車販売台数は前年比-28.8%と大幅な減少に転じ、また3月の小売売上高も同+9.4%と2017年7月以来の低い伸びとなった。



**【今月のトピック: 米国抜きのTPP、ベトナムに大きな恩恵】** 3月8日に、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の参加11か国は、米国抜きの新協定(包括的かつ先進的なTPP)に署名した。新協定は6か国の批准手続きを経て60日後に発効する。世界銀行のレポートによると、今回の新協定の参加効果によって、ベトナムのGDPは2030年までに1.1パーセント増加する。協定参加国に対する輸出は、現在の540億ドルが2030年には800億ドルに増加すると予測されている。輸出の拡大に加え、ベトナム企業の国際分業への参加が促進され、中小企業の成長が加速する効果も見込まれている。

(出所) ベトナム国家銀行(SBV)、ベトナム統計総局(GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。